

講義名	教職概論【教職科目】			授業形態	
担当教員	水田 聖一	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）
 ・教職の意義及び教員の役割
 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）
 ・進路選択に関する各種の機会（進路指導）
 学校教育の成否は、教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが極めて大きい。また、学校ではいじめや不登校など深刻な問題が生じており、教科指導の面でも、生徒指導や学級経営の面でも、教員には新たな資質能力が求められている。今日、教職に就こうとするものに何が求められているのかを学び、教職への意欲を高め、自らの適性を知る。

到達目標

・教職の意義及び教員の役割について、教育基本法及び関係法律を通して理解し、説明できるようになる。
 ・教員の職務内容を理解し、教師に求められる教育実践力についてのイメージを掴み、説明できるようになる。
 ・教職に対する適性を知る。

提出課題

ノート提出、小レポート(感想・コメント)提出等

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回書いてもらう小レポートは、次の週に返却する

評価の基準

定期試験(60%)、レポート・発表課題(40%)

履修にあたっての注意・助言他

毎回休まずに出席することが大切。欠席の多いものは成績も下がります。
 この授業では4回以上欠席者は、退学を受けることができません。
 A以上の成績を多く取るには、教育実習に力を入れます。
 テキストを購入しないものは、授業に出ることを禁ず。

教科書	.新・教職入門 改訂版.	山崎幸二	学文社	2100	9784762029608
-----	--------------	------	-----	------	---------------

参考文献

その他

文部科学省ホームページ
 高見友・田中耕治・矢野智司・稲垣恭子監修『教職教育論』(協同出版)
 中村恵・水田聖一・生田真子編著『保育内容総論』(福村出版)

授業計画

- 今日の教育課題と教師
- 教師の文化と専門性
- 教師の地位と育成システム
- 世界の中の教師
- 学習指導の課題
- 生徒指導の課題---教育問題を考えていくために
- 保護者・地域社会との連携と教師の役割
- 放課後の子供達の生活を支える保育活動と連携
- 教師の権利と義務
- 日常生活と課題
- 教師のワーク・ライフ・バランス---ジェンダーの視点から
- 児童・生徒理解と教師のメンタルヘルス
- 「学校安全」「安全教育」と教師
- 新しい時代における教師の役割と責務---ILO・ユネスコ「教員の地位に関する勧告」
- 教師としての成長発達

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業は、テキストに従って進めるので、予習・復習をしっかり行うこと。
 教科書に基づき、問題内容の発表を行ってもらうので、よく調べておくこと。
 上記の学習に4時間程度の学習が必要。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を持続することができる学生を育てます。
 本授業でも、自ら学び、自ら判断し、主体的に行動することが大切です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

テキストを朗読し、内容を要約する練習をします。
 前もって、予習しておきましょう。

実務経験の有無及び活用

備考

教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目